

米・ユタで“三方良し”発表

米国・ユタ州とゴールドラット・コンサルティングが共同開催する「Breakthrough Results for Government and Business Conference 2017」に日本代表として参加する、新潟県土木部の瀬戸民枝道路建設課参事、課長補佐。同県発注工事で手掛けてきた「三方良しの公共事業改革」をベースに、「発注者、受注者（地域建設業）双方の県民（住民）に対する思いをしっかりと伝えたい」と意気込む。

瀬戸氏は、ゴールドラット・コンサルティング・ジャパンの岸良裕司CEO（最高経営責任者）との出会いをきっかけに、

新潟県土木部の瀬戸さんが日本代表に

県職員にTOC理論を説明する
瀬戸さん



三方良しと全体最適のマネジメント理論（TOC理論）を先進的に実践してきた。事例や成果を重ねるにつれ、外部に発信する機会も増え、ある講演会でその内容を耳にしたユタ州のクリステン・コックスエグゼクティブディレクター（副知事）が感銘を受け、今回の参加が決まった。

国によって商慣習は異なるも

の、「納税者に喜んでもらうための公共事業を、行政と（建設）企業が一緒に考えようという日本特有の文化を少しでも理解してもらえれば」と期待を寄せ

る。また、新潟県土木部では、TOC理論を生かした「県民のための働き方改革」に着手。複数のプロジェクトが同時進行する場合でも優先順位を明確化し、それぞれの進捗を効率的に共有する取り組みを始めている。

同カンファレンスは、ウィーン・ウィンの社会の構築に向け、TOCを活用して自覚ましい成果を上げた事例を共有するのが狙い。9月7、8の両日、ユタ州ソルトレークシティのザグランドルアメリカホテルで開かれる。

